

Portable Wireless PA System

USB

Micro SD

FM



取扱説明書

800MHz帯ポータブルワイヤレスPAシステム

AN-336GL/BL

はじめに

この度は、AUDIO NEXSUS 800MHz帯ポータブルワイヤレスPAシステムAN-336GL/BLをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機は、塾、学校からダンス教室、スポーツジムまで幅広い用途で利用できる、ワイヤレスマイクが2本同時に使用できるポータブルスピーカーです。録音機能を利用して会議室での記録や様々なレクチャーにも活用できます。コンパクトながら、FMラジオの受信や携帯電話充電機能など多彩な機能も搭載しています。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）	1
お取り扱いのご注意・メンテナンス	2
同梱品について	3
各部の名前と主な機能	4・5
操作方法 モード選択をする（FM/USB/Micro SD）	6
操作方法 マイクを使用する	7・8
操作方法 USB、Micro SD カードの音源を再生する	9
操作方法 FM ラジオを聞く	10
操作方法 リモコンでのその他の操作	11
電源仕様について	12
製品仕様	13
故障かな？と思ったら	14・15
保証書	16

安全上のご注意（必ずお守りください）



この表示は、してはいけない禁止行為です。



この表示は、実行しなければならない内容です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



本機を湿気や雨水が当たる場所に置かないでください。ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。



指定以外の電源は使用しないでください。故障・発熱・発火の原因になります。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電する危険性があります。



本機をお客様自身で分解、改造、修理を行わないでください。故障、発火、感電の原因となります。



使用済みのバッテリーを家庭ごみとして廃棄しないでください。衝撃が加わると破裂・発火してたいへん危険です。



電池交換の際は、交換する電池と元の電池が同じ仕様であることを確認してください。不適切な電池は爆発や動作不良の原因となります。



燃えたり、変色、変形、液漏れ、などの異常のあるバッテリーを使用しないでください。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



外部から強い衝撃を与えたり落としたりしないようにしてください。故障の原因になります。



異常に温度が高くなる場所、直射日光が当たる場所に置かないでください。温度が高くなりすぎて火災の原因になることがあります。



油煙や湯気の当たる場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。



マイクジャックにオーディオ信号を接続しないでください。故障の原因になります。



本機を強い電磁波のある場所に置かないでください。



機器の故障を避けるため、USBメモリ、Micro SDカードは、必ず本機の電源を切ってから抜いてください。



長期間使わない時は、マイクから電池を取り出してください。液漏れ・発熱を起こすことがあります。

800MHz帯ポータブルワイヤレスPAシステム AN-336GL/BL お取扱いのご注意



ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をご覧ください、正しくご使用ください。

初めてご使用になる前に、必ず充電してください。



本機は充電用電池を内蔵しています。本製品開封後初めてご使用になる前に必ず充電してください。

工場出荷前に充電してありますが、長距離の輸送や長時間の保管により電池は自然に放電し、電力不足を起こしている場合があります。

電池寿命をできるだけ長く保つため、必ずこれらの動作をおこなってください。

充電は定期的に行ってください。



本製品を長期間ご使用にならない場合は、保管する前にフル充電をおこなってください。

なおかつ、毎月1回は充電し、電池の使用寿命を確保するとともに、最適な機能を維持するようにしてください。

長期間ご使用にならなかった後で再び使用する前に、フル充電をおこなってください。

電源をオフにしてからフル充電を行うことをお勧めします。

電池寿命を延ばすため、本製品使用後も再度フル充電をおこなってください。

使い終わったら、必ず電源を切ってください。



充電用電池の過剰放電や劣化を防ぐため、および電池寿命を確保するために、使い終わったら必ず電源を切ってください。

ラベルについてのご注意

証明ラベルをむやみに剥がさないでください。



本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。証明ラベルを剥がさないでください。

同梱品について



スピーカー



ワイヤレスハンド型マイクロホン×2



ストラップ



充電用ACアダプター
AC 100V 50/60Hz
DC 15V 1500mA



取扱説明書（本書）



リモコン

各部の名前と主な機能



- 1.φ6.3 MIC : 6.3mm有線マイク入力端子
- 2.OUTPUT/DC 5V/1A : DC5V 1A USB出力ポート
携帯電話の充電が可能です。
- 3.MIC VOL : ワイヤレスマイクおよび有線マイクの音量調整ダイヤル
- 4.ECHO : エコーエフェクト調整ダイヤル
- 5.BASS : 低音レベル調整ダイヤル
低音域のバランスを調整できます。
- 6.TREBLE : 高音レベル調整ダイヤル
高音域のバランスを調整できます。
- 7.φ3.5 MIC : φ3.5mmマイク入力端子
- 8.AUX IN : φ3.5mm外部オーディオ機器入力端子
CDプレイヤー、MP3プレイヤーなどの外部端末を接続し、音源を再生することができます。ボリュームは外部端末のボリュームで調整してください。
- 9.POWER : 電源入/切ボタン
- 10.FM/USB/SD ON/OFF : モード選択ボタン (FM/USB/Micro SD)

各部の名前と主な機能



- 11.MODE/FM RECALL : リピート再生/FMラジオ局受信
- 12.A-B/MEMO/FM SCAN : A-B区間リピート再生ボタン/自動スキャン選局
- 13.◀◀/FM DOWN : 早戻し/FM手動スキャン
- 14.▶▶/RECボタン : 録音/一時停止
- 15.▶▶/FM UP : 早送り/FM手動スキャン
- 16.USB : USBメモリ入力ポート (USB2.0対応)
- 17.MICRO SD : Micro SDカードスロット
- 18.W/M表示ランプ : ワイヤレスマイク表示ランプ
- 19.CHARGE表示ランプ : 充電表示ランプ
充電中は赤色に点灯します。フル充電が完了すると、ランプが消灯します。
- 20.MIC PRIORITY : マイク優先機能ボタン
- 21.持ち手
- 22.メイン音量調整ダイヤル : 本体のメイン音量を調整します。
(USB/Micro SD/FM/MIC)
- 23.REMOTE : リモコンセンサー
- 24.DC12V/2A入力 :
- 25.DC15V/1.5A入力 : ACアダプター充電入力端子
- 26.FUSE : ヒューズ接続口

■ FM/USB/SD ON/OFF (10) (モード選択ボタン) で FM ラジオ、USB メモリ、Micro SD カードを操作する。

- 一度押すと、スタンバイモードに入ります。USB メモリがセットされている場合は USB メモリの音源を自動再生します。
- Micro SD カードのみセットされている場合は、Micro SD カードの音源を自動再生します。
- もう一度押すと、FM ラジオモードにかわります。優先順位は USB、Micro SD、FM の順に切り替わります。
- 液晶画面に FM が表示されているときは FM ラジオ受信中、USB および MP3 (または WMA) が表示されているときは USB メモリ内の音源を再生中です。
- SD および MP3 (または WMA) が表示されているときは Micro SD カード内の音源を再生中です。
- 2 秒長押しで、液晶表示が消え、スタンバイモードに入ります。

■ 各モードの液晶表示

FM、受信中の FM 周波数 : FM ラジオ受信中

USB、トラック番号、MP3/WMA : USB メモリ再生中

SD、トラック番号、MP3/WMA : Micro SD カード再生中

■ ハンド型ワイヤレスマイクを使用する

1. 電池蓋を開けます。
2. 単三形乾電池 2 本を + と - が正しい方向になるよう確かめて、マイク内に入れます。
3. マイクの電源スイッチをオンにすると使用できます。
4. 長期間マイクを使用しない場合は、マイクから電池を取り出してください。



【マイクの表示ランプについて】

- マイクの電源ランプが点灯している…正常
- マイクの電源ランプが点滅している…電池の容量が少なくなっています。新しい電池に交換してください。
- マイクの電源ランプが消灯している…電池が完全になくなっているか、または電池を誤った向きにセットしている可能性があります。

【スピーカー本体の表示ランプについて】 W/M 表示ランプ (18)

- B43(または B41)のマイクを使用中の場合、緑色に点灯します。
- B46(または B42)のマイクを使用中の場合、オレンジ色に点灯します。
- 2 本のワイヤレスマイクを同時に使用中的の場合もオレンジ色に点灯します。
- ワイヤレスマイクを使用していない場合は消灯します。



マイクヘッドをスピーカーの近くに向けて使用しないでください。
ハウリングをおこし、不具合の原因となります。



ノイズリダクション機能が搭載されているため、声の音圧が少ない場合は音をひろわない場合がありますが、異常ではありません。マイクを口元から 3cm 以上離さないでください。

■ ワイヤレスマイクの周波数について

1. 本機のワイヤレスマイクの周波数は固定チャンネルとなっております。
使用周波数は以下のとおりです。
 - 品番：AN-336GL…806.750MHz(B41) と 807.500MHz(B42) の 2 波
 - 品番：AN-336BL…808.000MHz(B43) と 809.750MHz(B46) の 2 波
2. チャンネルの設定変更はできません。
3. スピーカーを 2 台同時に使用する場合は、機器が別々の品番 AN-336GL と AN-336BL をご使用ください。
4. 同じ品番の機器を同じ部屋などで 2 台同時に使用することはできません。

■ マイク優先機能を使用する MIC PRIORITY (20)

1. MIC PRIORITY(20)を押すと、BGM(USB、Micro SD、AUX 入力に接続された外部機器の音源、FM ラジオ)再生中にマイクの音声をひろうと、BGM の音量が小さくなります。
2. マイク優先機能ボタンを使用する場合は、メイン音量ダイヤル(22)を中間の位置に調整してください。
3. マイク音声と BGM が適切な音量バランスになります。USB、Micro SD カードの音源、FM ラジオのボリュームが大きすぎるまたは小さすぎる場合はリモコンでも調整できます。

■ エコー機能

1. 本機はマイクエコー機能を搭載しています。ECHO ダイヤル(4)で調整してください。
2. この機能はワイヤレスマイクおよび有線マイクの音声にのみ動作します。

■ 有線マイクを使用する

1. 本機には有線マイク入力端子が 1 つ付いています。
2. マイクを端子に挿し、音量を調整してください。

■ 通常再生

1. USB メモリまたは Micro SD カードをセットした状態で MODE/FM RECALL(11)を押すと、自動で再生します。

■ リピート再生する MODE/FM RECALL (11)

1. MODE/FM RECALL(11)を 1 回押すと、1 トラックをリピート再生します。
2. 2 回押すと、フォルダ内のトラックをリピート再生します。
3. 3 回押すと、全トラックをリピート再生します。
4. 4 回押すと、リピート再生モードを解除します。

■ 指定した区間のリピート再生をする A-B/MEMO/FM SCAN (12)

1. A-B/MEMO/FM SCAN(12)を 1 回押すと、リピート開始点(A)を記録し、液晶画面に A-B が点滅します。
2. もう一度押すと、リピート終了点(B)を記録し、A から B までの区間をリピート再生し続けます。
3. もう一度押すと、A-B リピート再生を解除します。

■ 早戻し再生 FM DOWN (13)

1. FM DOWN(13)を押すと前のトラックに戻ります。
2. 2 秒以上長押しすると、トラックを早戻しします。

■ 早送り再生 FM UP (15)

1. FM UP(15)を押すと次のトラックに進みます。
2. 2 秒以上長押しすると、トラックを早送りします。

■ 再生／一時停止／録音 REC (14)

1. 再生中、液晶表示には現在のトラック番号と再生経過時間が 5 秒おきに交互に表示されます。
2. REC(14)を再生中に押すと一時停止し、液晶画面には II が表示されます。
3. 再生中に押すと一時停止へ、一時停止中に押すと再生へとかわります。
4. 2 秒以上長押しすると、録音を開始します。録音するメディアとして USB メモリ、または Micro SD カードを自動で選択します。液晶画面に USB または SD が点滅し、録音中のメディアを表示します。録音中にもう一度押すと、録音を停止します。
5. 録音ファイルは、「record」フォルダに入ります。(フォーマット : MP3 形式)

FM ラジオ局のダイレクト受信 MODE/FM RECALL (11)

1. FM ラジオモードで MODE/FM RECALL(11)を 1 回押すと、最後に受信したラジオ局を受信します。

自動スキャン選局 A-B/MEMO/FM SCAN (12)

1. A-B/MEMO/FM SCAN(12)を 2 秒以上長押しすると、受信可能な FM ラジオ局を自動でスキャンし、本体に記録します。最大で 30 局まで記録できます。

FM ラジオ局メモリー設定 A-B/MEMO/FM SCAN (12)

1. A-B/MEMO/FM SCAN(12)を 1 回押し、番号が点滅している間に MODE/FM RECALL ボタンを押し、設定したいメモリー番号を選択します。
2. もう一度 5 秒以内に A-B/MEMO/FM SCAN ボタンを押し、番号を記録します。
3. 5 秒以内にボタンを押さなければ、自動でメモリー設定モードが解除されます。番号が記録されると、液晶画面に表示されます。

FM ラジオ局の選局 FM DOWN (13)

1. FM DOWN(13)を 1 回押すごとに 0.1MHz ずつ低い周波数を受信します。
2. 2 秒以上長押しすると、自動でラジオ局を選局します。受信可能な局を見つけると自動で止まります。

FM ラジオ局の選局 FM UP (15)

1. FM UP(15)を 1 回押すごとに 0.1MHz ずつ高い周波数を受信します。
2. 2 秒以上長押しすると、自動でラジオ局を選局します。受信可能な局を見つけると自動で止まります。

FM ラジオを録音する REC (14)

1. FM ラジオの受信中に REC(14)を 2 秒以上長押しすると、FM ラジオの録音を開始します。
2. 録音するメディアとして USB メモリ、または Micro SD カードを自動で選択します。
3. 液晶画面に USB または SD が点滅し、録音中のメディアを表示します。
4. 録音中にもう一度押すと、録音を停止します。
5. 録音ファイルは、「record」フォルダに入ります。(フォーマット : MP3 形式)

操作方法 リモコンでのその他の操作

■ リモコンの距離について

- リモコンは、スピーカーから 5 メートル以内で操作してください。

■ リモコンで操作可能な音量調整について

- リモコンの操作で、USB メモリ、Micro SD カード、FM ラジオの音量が調整できます。
- ワイヤレスマイクの音量は調整できません。

■ フォルダ選択 (前へ) FOLDER-

- 音源を再生中にこのボタンを押すと、前のフォルダの音源を再生します。

■ フォルダ選択 (次へ) FOLDER+

- 音源を再生中にこのボタンを押すと、次のフォルダの音源を再生します。

■ ミュートボタン 𠂇

- 再生中に押すと消音(ミュート)します。

■ 音量を下げる VOL-

- 再生中に押すと、音量を下げます。

■ 音量を上げる VOL+

- 再生中に押すと、音量を上げます。

■ トラック番号選択 各番号ボタン (0 ~ 9)

- このボタンで音源のトラック番号を選択します。



お子様やペットが誤って口に入れられないよう、リモコンに使用されているボタン電池および電池蓋をそばに置かないでください。

電源仕様

本機は、さまざまな電源供給に対応しています。

1. 内蔵充電式バッテリー

- AC アダプターに接続時は充電または使用時であっても、充電が可能です。ただし、使用しながらの充電よりも使用していない状態の方が、充電が早く完了します。
- 充電中は充電ランプが赤く点灯します。フル充電が完了すると、消灯します。充電時間は約 2 ～ 3 時間です。
- フル充電しても使用時間が短くなった場合は、バッテリーの寿命ですので、交換が必要です。
- 本機は充電自動保護回路、過充電および過放電保護回路を搭載しています。

2. 車用シガーソケット DC12V 電源

3. AC アダプター電源

ヒューズ (250V/3A、Φ5× 長さ 20mm) を取り付ける

1. プラスドライバーで反時計回りに回しチューブを取り外してください。
2. チューブ内にヒューズ (250V/3A、Φ5× 長さ 20mm) を取り付けます。
3. プラスドライバーで時計回りに回し、ヒューズを入れたチューブを本機に取り付けてください。
4. 長期間使用しない場合は、本機からヒューズを取り外してください。



DC+- 極性の接続方法

1. 16 # 以下のケーブルを使用します。
2. 電源の入力電圧は DC12V+20%～ -10%の範囲内にし、最小でも 2.5A 以上でなければ本体の故障につながりますのでご注意ください。
3. 赤が + 極性、黒が - 極性です。
4. 電源接続時の回路のショートを防ぐため、外部電源には 3A のヒューズを設置してください。
5. 電源を正しく接続したら、本機の電源を入れてください。電源ランプが点灯し、正常に動作するのを確認してください。使用後は必ず電源を切ってください。
6. 末端の接続は単心ケーブルで、電源入力のみに対応します。外部機器には電源供給できません。

製品仕様

800MHz 帯ポータブルワイヤレス PA システム AN-336GL/BL

出力	90W(最大)
ワイヤレス周波数	AN-336GL : 806.750MHz(B41)、807.500MHz(B42) の 2 波 AN-336BL : 808.000MHz(B43)、809.750MHz(B46) の 2 波
スピーカー	5 インチ 10W/4Ω
動作電圧	DC12V / 2200mAh 充電式バッテリー
FM ラジオ周波数	76.0MHz ~ 108.0MHz
充電温度範囲	0℃ ~ 45℃
放電温度範囲	-20℃ ~ +55℃
保管温度範囲	-5℃ ~ +35℃
使用温度範囲	-10℃ ~ +45℃
充電時間	2 ~ 3 時間
使用時間	2 ~ 3 時間
録音フォーマット	MP3
対応再生フォーマット	MP3、WMA
質量	約 2.3kg
寸法	260×140×250mm

この取扱説明書の内容は予告なく変更になる場合がございます。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- バッテリーの残量がない場合があります。ACアダプターをつなぎ、充電してください。

マイクの音が出ない

- メインボリュームまたはマイクボリュームが最小になっていないかを確認してください。
- マイクの電池が切れていないかを確認してください。
- 声の音圧が低い場合は音を拾わない場合があります。**口元からマイクヘッドを3cm以上離さないでください。**

USB、Micro SD、FMラジオの音が出ない

- メインボリュームが最小になっていないかを確認してください。
- リモコンのボリュームが最小になっていないかを確認してください。

マイクがハウリングを起こしている

- マイクヘッドの方向をスピーカーへ向けたまま使用しないでください。
- マイクヘッドとスピーカーの距離が近すぎる場合はハウリングを起こしやすくなります。距離を離すようにしてください。
- ボリュームが大きすぎるとハウリングを起こしやすくなります。ボリューム調整を行ってください。
- 高音レベル調整 (TREBLE)、エコーエフェクト調整ダイヤル (ECHO) を調整してください。

雑音が入る

- ボリュームが大きすぎると音が歪む場合があります。ボリューム調整を行ってください。
- バッテリーの残量が少なくなると、雑音が入る場合があります。本体に付属のACアダプターをつなぎ、充電してください。
- バッテリーの劣化で、雑音が入る場合があります。販売店に連絡し、バッテリーを交換してください。
- ワイヤレスマイク使用時、近隣で同じ周波数が使用されている場合は、混信をおこし、音が出なくなる場合があります。近隣の状況を確認してください。

故障かな？と思ったら

充電できない

- 既にフル充電が完了していると、充電してもすぐに充電ランプが消灯します。
- ACアダプターの故障が考えられます。新しいものと交換してください。
- バッテリーの寿命で、充電できなくなる場合があります。販売店に連絡し、バッテリーを交換してください。

【販売】

 **インカムショップ.com**

本店物流センター／〒852-8136 長崎県長崎市家野町5番19号

電話 095-848-4337 FAX 095-848-4874

[受付時間] 平日（月曜～金曜）9：00～18：00